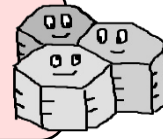




子ども探検隊の手引き



火山がつくった不思議な景色には、
こんなものもあるよ。



ちゅうじょうせつり
柱状節理と
いいます。

火山から流れ出た溶岩が、^{*1} ゆっくり冷え固まって、規則正しい柱のような割れ目（**柱状節理**といいます）をつくること
があります。これは、比較的厚い溶岩流が冷えて固まるとき、温
度が下がって岩石の体積が収縮してできる角柱状の割れ目で、
角柱の断面は六角形のことが多いですが、必ずしもそうではな
く、四角形、五角形、七角形、八角形のものもあります。一般
的には、時間をかけて冷えるほど太くなります。

*1 「ゆっくり」・急速に冷
え固まる火山岩の中で、比較的
ゆっくり冷え固まる場合。

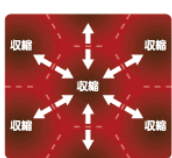


龍鱗郷の柱状節理

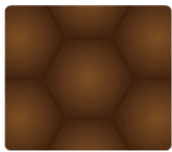


柱状節理の作り方

◆割れ目が入るのは？



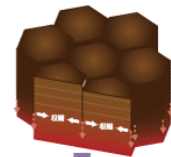
溶岩は冷えると縮
む性質がある。収
縮の中心同士の間
は、引っ張られて
割れ目ができる。



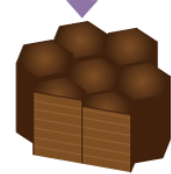
割れ目が均等に
できると六角形に
なる。(五角形や四角
形のこともある)



◆大きな柱になるのは？



溶岩は表面から内
側に向かって冷
えていく。それにと
もなって、割れ目
は内部に向かって
成長する。



溶岩が内部まで冷
え固まると、六角
柱(柱状節理)に
なる。

「壺ヶ淵」入口に設置されている看板(萩ジオパーク推進協議会)



柱状節理に直行する節理(割れ目)は何？

石を積み上げたように見えるほぼ等間隔の筋
の間のひとかたまりは「**クーリングユニット**」と
呼ばれているものです。かたまりごとに冷えたときにで
きた跡で、柱状節理が一度にできたのではないことを示
しています。一般的には、時間をかけて冷えるほどこの幅
が大きくなります。



龍鱗郷の柱状節理